

令和4年度

第1回 磐田市文化財保護審議会 報告

- 1 日時 令和4年8月30日(火) 13:30～16:00
- 2 場所 磐田市埋蔵文化財センター 2階 研修室
- 3 出席者 磐田市文化財保護審議会委員 10名
平野吾郎会長 小杉達副会長 加藤理文委員 杉山知太郎委員
鈴木敬雄委員 芹澤拙夫委員 坪井俊三委員 西田かほる委員
増田千次郎委員 中山正典委員
事務局 10名
山本教育長・藺田教育部長・竹内文化財課長・神谷課長補佐
木村歴史文書館長・室内調査G長・谷口主任・森本主事
- 4 傍聴人 なし
- 5 議事
 - 1 開会
 - 2 教育長あいさつ
 - 3 会長あいさつ
 - 4 審議事項
 - ①市指定文化財の指定について
 - ①-1「成瀬家文書」
〔事務局からの説明〕
 - ・成瀬家は中世、近世を通じて、見付宿の代表格を務めた家柄で、米屋弥九郎として代々その名を踏襲した。
 - ・平成9年に当時社会教育課生涯学習担当宛てに、最後の弥九郎の曾孫から301点の資料の寄贈があり、さらに令和2年に歴史文書館へ近現代文書が寄贈された。
 - ・最後の弥九郎が亡くなる明治43年までの文書を指定の対象とした。
弘治3年(1557)から明治43年(1910)までの合計1,988点とその他断簡一括。
 - ・内訳
 - 【中世】今川義元、氏真に関する16世紀代の資料3点。
 - 【近世】見付宿の間屋役任命、伝馬朱印状、浜松・見付間の増駄賃など、交通関係史料、見付宿の財政関係史料など355点。
 - 【近代】明治43年までの成瀬家関係書簡類1,630点の合計1,988点。
 - 【そのほか断簡一括】

〔主な質問・意見〕

【坪井委員】成瀬家は中世より見付の町衆の中心的な役割を担っていた磐田を代表する、あるいは遠州を代表するような文書の一群である。かなり大事なものである。

【西田委員】明治43年以降のものもたくさんあるのか。それがその他断簡一括に含まれるのか。

→寄贈された近現代文書に大正時代のものまで含まれているが、指定対象には含めてありません。

【増田委員】建築の分野でも古文書が重視される。図面や棟札よりもずっと役に立つことがある。これらの文書を解読したら価値が出てくる。

【増田委員】古文書の保存はどのようにしているか？水を使って裏打ちすると紙の大きさが変わってしまい、文化財としての価値を失う。裏打ちの方法を検討したほうがよい。

【平野会長】全部解読は出来たか？

→分類しただけで、解読はこれから。

【小杉委員】成瀬家は磐田市に家はないのか？

→磐田市内にはいない。

・「成瀬家文書」を磐田市有形文化財(古文書)に指定する答申書が提出された。

①-2 新豊院山古墳群出土資料

〔事務局からの説明〕

- ・新豊院山古墳群は、磐田原台地上東縁に位置する弥生時代から古墳時代前期にかけての墳墓群。
- ・国指定史跡から出土の資料で市が保管。
- ・報告書掲載の出土資料（土器、金属製品）合計107点。
- ・2号墳出土大刀1点が所在不明のため、現在搜索中。

〔主な質問・意見〕

【平野会長】全力で探してみ、見つければ追加指定する。

【加藤委員】新豊院山古墳群一括資料なので、見つけて全点まとめて指定する。

【小杉委員】現地に行ったら登れなかったが。

→土砂崩れによりこれまで通らせてもらっていた民地が通れなくなっている。接道している場所がごくわずかで見学ルート確保が困難。保存活用計画を早期に作成して整備について検討し将来の工事計画につなげていく。

・新豊院山古墳群出土資料（所在不明大刀を除く）を磐田市指定有形文化財(考古資料)に指定する答申書が提出された。

②国指定史跡旧見付学校附磐田文庫の保存活用計画について

〔事務局より説明〕

- ・計画の目的は、国史跡調査を進め、今後の保存整備活用の方針を定めること。
- ・隣接地（民地）を国史跡に指定し範囲拡大を目指す。
- ・周辺市有地について、文化財課所管と都市整備課所管で分かれている。一部を文化財課に所管替えして、全体で活用を検討する。
- ・隣接地境界測量と地形測量、文化財要素の位置関係の把握は完了。
- ・旧見付学校石垣3D測量完了。
- ・沿革誌集成。
- ・旧見付学校は、近代建造物としての価値、隣接する淡海国玉神社、その神官家である大久保家との一体的な価値、教育の場としての価値がある。
- ・今後の保存活用の柱は、保存管理、資料の整理と活用、管理運営、運営体制の四つ。

【増田委員】史跡指定だが、建物を元の2層に戻す予定はあるのか？

→地元の人たちが、「見付の5階」と呼んでいるので、5階から2層4階に戻すことにはおそらく反対であろう。

【増田委員】史跡指定であろうが建造物指定であろうが、元のとおりに戻すことは必要だと思う。解体修理の際は、専門家でチームを組んで慎重に行うべき。

【中山委員】地元の方が誇りを持って保存活用計画を遂行していくと思えるような計画を作してほしい。

5 報告事項

①遠江国分寺跡整備事業の進捗状況について

10月ごろから僧房と講堂の基壇の復元工事に入る。

②登録有形文化財（建造物）登録候補の文化庁による実地調査の結果について

8か所12件を8月3日に調査。

結果、旧津倉家住宅・蔵ほか9件が登録候補として認められた。

③寺谷用水関係資料の調査の進捗状況について

寺谷用水土地改良区より寺谷用水旧絵図の寄贈を受けた。

今年度、寺谷用水土地改良区の蔵に保管されている文書群の選別を実施予定。

【中山委員】蔵が立派なので、建造物としての価値にも注目してほしい。

④無形民俗文化財映像記録事業

令和3年度に「中野白山神社例祭（白酒）」と「中野白山神社十日祭（お箱）」の映像記録を実施。豊浜地区の市指定無形民俗文化財についてすべて記録化できた。豊浜地区の無形民俗文化財3件をまとめた映像を作成した。

今年度は、「大めし祭り」の映像記録を実施する。

⑤文化財啓発事業

- ・令和3年12月から令和4年8月の普及啓発事業実績を報告。

⑥文化財調査実績

- ・令和3年12月から令和4年8月に実施した有形・無形文化財、埋蔵文化財調査実績を報告。